

令和4年度(独)自動車事故対策機構調達等合理化計画の概要

- 公正性・透明性を確保しつつ、自律的かつ継続的に調達等の合理化に取り組む。
- 計画策定、実施、自己評価及び次計画への反映というPDCAサイクルにより推進。
- 計画策定及び自己評価に当たっては、外部有識者からなる契約監視委員会の点検を実施。
- 「調達等合理化検討会」を内部に設置し、調達等合理化計画を着実に実施。

I. NASVAの調達の現状

- 調達の全体像(令和3年度)
→ 66件、1,309百万円

- ◇ 「競争性のある契約
(一般競争、企画競争、公募)」
46件、1,212百万円
- ◇ 「競争性のない契約(特命随契)」
20件、 97百万円

- 一者応札・応募状況

- ◇ 一者応札・応募の件数は減少
21件→18件

- 一括調達

- ◇ 新型コロナウイルス感染症対策に係る一括調達が減少したことにより件数、金額ともに減少
80件→67件、49.2百万円→26.3百万円

- 障害者就労施設等からの調達状況

- ◇ 件数は減少、金額は増加
160件→125件
8.5百万円→11.0百万円

II. 合理化に向けた取組

(1) 重点的に取り組む分野

- ① 一者応札の見直し
→ 仕様書の明確化、応札条件の緩和、発注単位の見直し、公告時期の前倒し、履行期間の拡大
また、辞退理由の聴取・具体的要因分析
- ② 障害者就労施設等への優先調達
→ 調達方針に基づき、障害者就労施設等への発注拡大に向け積極的に推進

③ 調達グループを超えた一括調達

- 汎用的な物品・役務等の調達において、支所等の調達案件を取りまとめる等、一括調達の実施(障害者就労施設等からの物品等の調達に配慮)

④ オープンカウンター方式の実施

- 競争性の向上・透明性の確保を図る観点から、事務負担を考慮しつつ実施

⑤ 情報システムの調達における取組

- SE等単価の評価等を踏まえた工数による予定価格の妥当性を評価

(2) ガバナンスの徹底

- 随意契約に関する内部統制の確立を図るため、適正契約検証チームにおいて、新たに随意契約を締結する場合に事前点検を実施
- 不祥事発生 of 未然防止・再発防止のため、重点監査項目等による効果的な内部監査等を実施
- 本部調達担当職員等のスキルアップを図るため研修を実施